



報道機関 各位

公立大学法人大阪市立大学

## 南部陽一郎名誉教授へ 大阪市立大学初の特別名誉教授の称号を贈呈

大阪市立大学は、2008年のノーベル物理学賞受賞者であり、本学の名誉教授である南部陽一郎氏に対して本学初の特別名誉教授の称号を贈呈することといたしました。

平成23年6月20日(月)13時から贈呈式及び理学研究科糸山教授による南部陽一郎名誉教授の研究概要の紹介、ご本人による講話を予定しています。

特別名誉教授の称号は、大阪市立大学の創立130周年を迎えたことを契機に創設された称号であり、教育上又は学術上特に顕著な功績等を挙げた者に対して授与することとしております。

その受賞者として、ノーベル物理学賞の受賞をはじめ、数々の顕著な功績をあげられた南部陽一郎名誉教授に初の特別名誉教授の称号を贈呈できることは、大阪市立大学にとって大変誇らしいことであるとともに、科学を志す学生や若い研究者の大きな励みになるばかりでなく、学問を志すすべての者へ、夢と希望を与えるものになると考えます。また贈呈式の終了後に南部陽一郎名誉教授と本学学生との交流を予定しております。

### 記

1. 式名 南部陽一郎氏 特別名誉教授称号贈呈式
2. 日時 平成23年6月20日(月)13時~13時40分
3. 会場 大阪市立大学学術情報総合センター 10階大会議室(大阪市住吉区杉本3-3-138)
4. 対象 本学教職員・学生
5. 内容 13:00 開会(司会:櫻木弘之理学研究科長)  
特別名誉教授 称号贈呈、記念品贈呈  
13:10 学長あいさつ  
13:15 南部名誉教授の研究内容の紹介(糸山浩理学研究科教授)  
13:25 南部名誉教授からの講話  
13:40 閉会  
13:50 本学学生との懇談  
14:30 お見送り  
14:30~15:00 関係者への取材  
櫻木弘之理学研究科長、糸山浩理学研究科教授、学生
6. 取材対応

贈呈式の取材を希望される方は、6月17日(金)午後5時までに大阪市立大学総務課広報担当(電話06-6605-3570)までご連絡ください。なお、写真撮影及び関係者の取材は可能ですが、南部陽一郎名誉教授へのインタビューは予定しておりませんので、ご了承ください。

以上

### 【報道に関する問い合わせ先】

大阪市立大学 総務課広報担当 小澤・勝井 TEL:06-6605-3570 FAX:06-6692-1295

## 【プロフィール】

○南部陽一郎 90歳（元理工学部教授）

理論物理学、特に素粒子物理学、原子核物理学の発展に大きく貢献。素粒子の質量の起源、超伝導現象など様々な物理現象に共通する『対称性の自発的破れ』の発見をはじめとして、『クォークに対するカラー（色）の自由度』、『ハドロンの双対性に基づく弦理論』等、次の時代を予言する超一流の業績を持つ世界的に著名な物理学者。

数々の権威ある国際的学術賞（ハイネマン賞、オッペンハイマー賞、アメリカ国家科学賞、マックス・プランク・メダル、ディラック賞、J・J・サクライ賞、ウルフ賞、ベンジャミン・フランクリン・メダル）の受賞をはじめ、1978年には文化勲章、2008年にはノーベル物理学賞を受賞している。

1949年大阪市立大学理工学部助教授

1950年大阪市立大学理工学部教授

1956年シカゴ大学助教授

1958年シカゴ大学教授

1978年大阪市立大学名誉教授

○櫻木弘之 53歳（理学研究科教授、理学研究科長・理学部長）

専門は原子核物理学。原子核のクラスター構造と分解反応理論、原子核間相互作用の微視的理論などで多くの業績をもつ。九州大学理学部物理学科卒、理学博士（九州大学）。東京大学原子核研究所研究員を経て、1987年より大阪市立大学理学部助手、講師、助教授、1999年より大阪市立大学大学院理学研究科教授、現在に至る。2010年より理学研究科長・理学部長。

○糸山浩 54歳（理学研究科教授）

専門は「場の量子論」、「超弦理論」。東京大学理学部物理学科卒、米国コロンビア大学科学及び芸術系大学院 PhD 取得、フェルミ国立加速器センター研究員、ニューヨーク州立大学理論物理学研究所研究員を経て、1992年より大阪大学大学院理学研究科助教授、2002年より大阪市立大学大学院理学研究科教授、現在に至る。

フェルミ研究所がシカゴの郊外にあり、南部先生から研究員時代に指導をうけ、帰国後も継続している。現在の研究テーマである「弦理論と行列模型の関係」、「場の量子論に於ける超対称性の自発的破れ」は、若き日の南部先生の研究がルーツになっている。